

原発避難を冊子に 福島から群馬に移った友愛会

東京電力福島第一原発事故の影響で、福島県から群馬県に避難している社会福祉法人友愛会（林久美子理事長）はこのほど、震災直後からの動きをまとめた冊子「今日まで そして明日へ」を発行した。無料で配布している。

知的障害者の入所施設などを富岡町で運営していた友愛会は、震災当日 66 人の利用者と職員 25 人がいたという。冊子では、集団で避難を開始した時の様子や、避難生活の状況などを時系列に説明。利用

者と家族の面会が減ったことや、福島への思いなどについてもつづっている。

友愛会は来年秋までに福島県広野町で新施設を建設する予定だ。寺島利文事務局長は「震災が風化しないよう、小学生でも読める表現でまとめた。ぜひ多くの人に手にとってもらえれば」と話している。

A5 判で 20 ページ。問い合わせは友愛会（Tel・027-386-6030）まで。

（福祉新聞・第 2680 号 2014 年 8 月 11 日）

お知らせ

CI 療法講習会

あらゆるリハビリテーション治療のなかでも EBM として最も確立した治療法である CI 療法、すでに全国の数多くの施設で実施される標準的治療になってきました。『CI 療法講習会』は CI 療法の基礎から実践までじっくり学べる講習会です。米国で生まれた CI 療法ですが、私たちは CI 療法のコンセプトを維持しつつ日本の臨床現場で実現可能な形に修正し、全国で最も多くの患者さんに対して CI 療法を実施してきました。本講習会では、CI 療法で必須の機能評価 Wolf Motor Function Test (WMFT) や Motor Activity Log (MAL) の公式日本語版の評価方法、CI 療法の理論、運動学習など脳科学との関連、そして、症例における実践例などについてわかりやすく説明します。教科書として『CI 療法—脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ』（中山書店）を推奨しますが、教科書に記載されていない内容も豊富に含まれています。どうぞ奮ってご参加ください。

日時：2014 年 12 月 7 日（日）10:00～16:15（予定）
*レストランなどは限られていますので、ご昼食を持参いただくことをお勧めします。

会場：日本交通協会会議室（東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 9 階）

講師：道免和久先生（兵庫医科大学リハビリテーション医学教室 主任教授）/高橋香代子先生（北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科）/竹林崇先生（兵庫医科大学病院リハビリテーション部）

対象：医師・看護師・介護福祉士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・介護支援相談員・社会福祉士・そのほか関連する業務に携わる方

申し込み方法：兵庫医大リハビリテーション医学教室（<http://www.neuroreha.jp/pg1.html>）または、CRASEED（<http://www.crased.org>）のホームページのセミナー申込専用フォームよりお申し込みください。追って参加可否、受講料振込先などをお知らせ致します。

受講料：12,000 円

主催：兵庫医科大学リハビリテーション医学教室

共催：NPO 法人リハビリテーション医療推進機構 CRASEED（日本 OT 協会 SIG 認定施設）

問い合わせ先：☎ 663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1 兵庫医科大学リハビリテーション医学教室
E-mail: office@crased.org